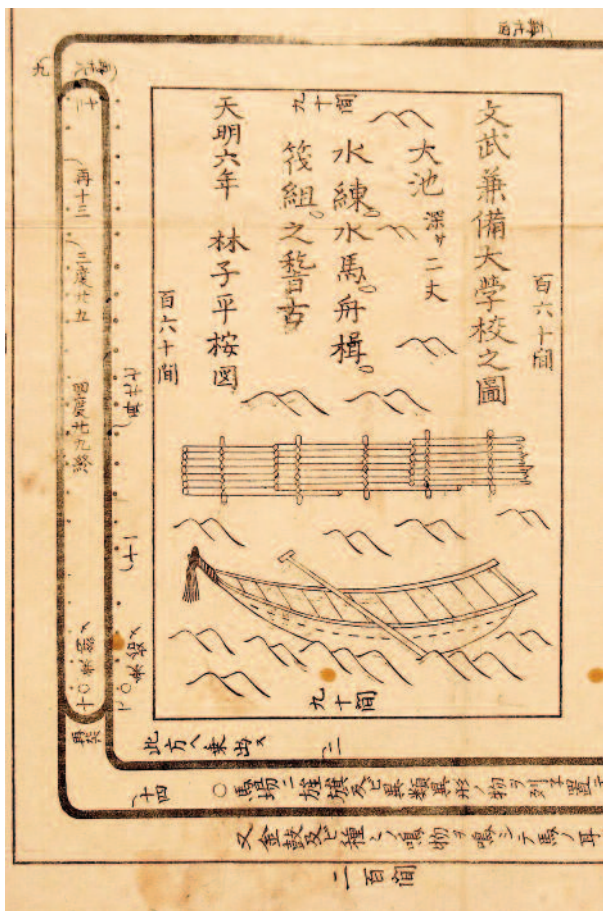
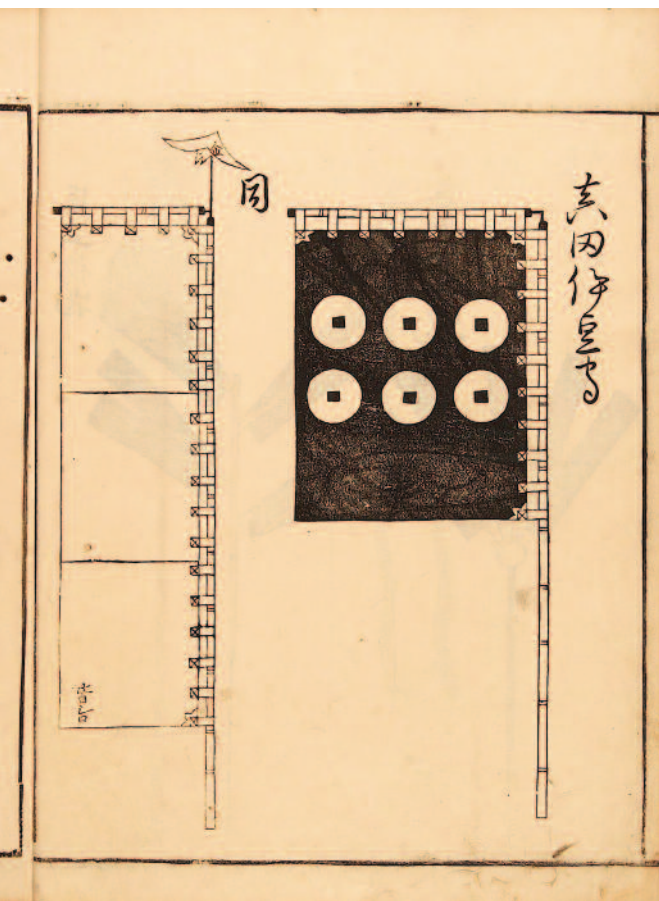
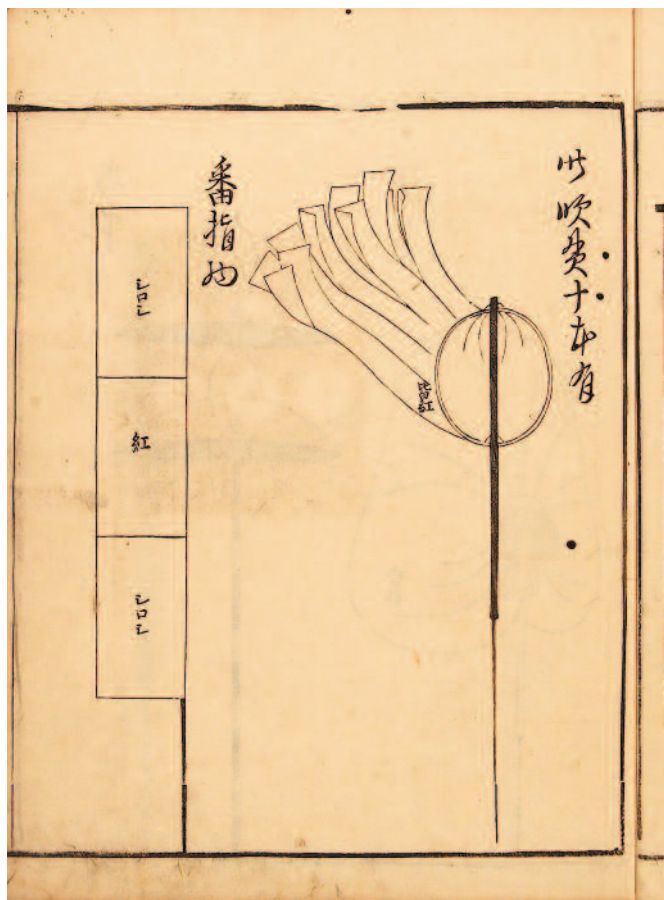




48. 林子平私家板 文武兼備大學校之圖 (天明六年 林子平按圖)

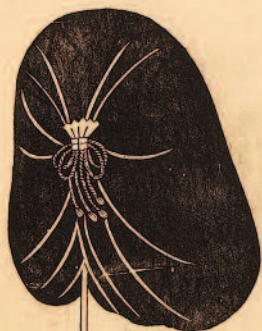
三 諸將旗旌圖 (寛永一四年刊)



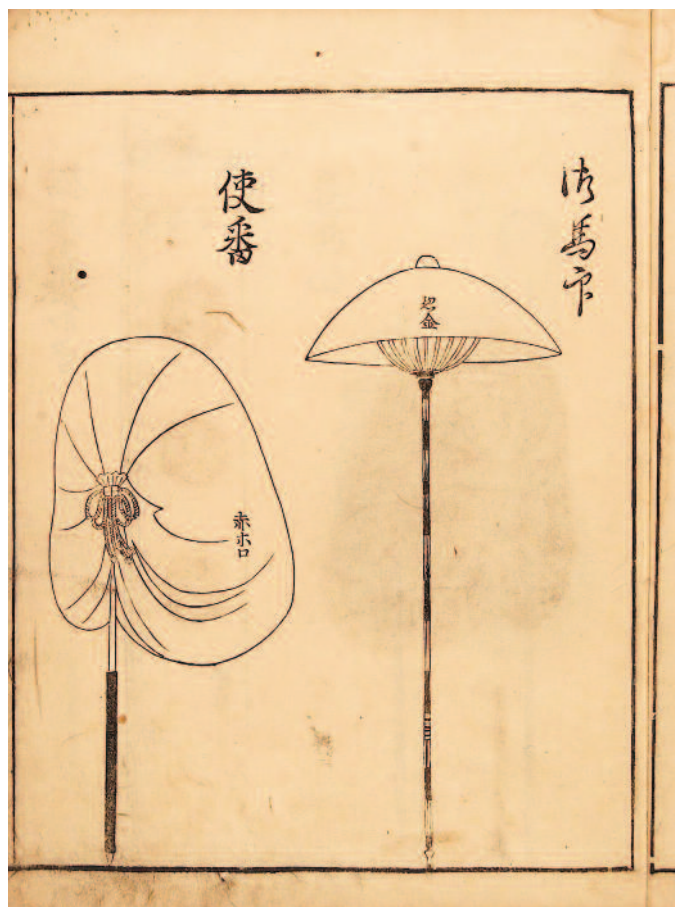


信長様

使番



質地



一四 もしほ草（貞享元年中旬刊・菱川師宣風挿繪）

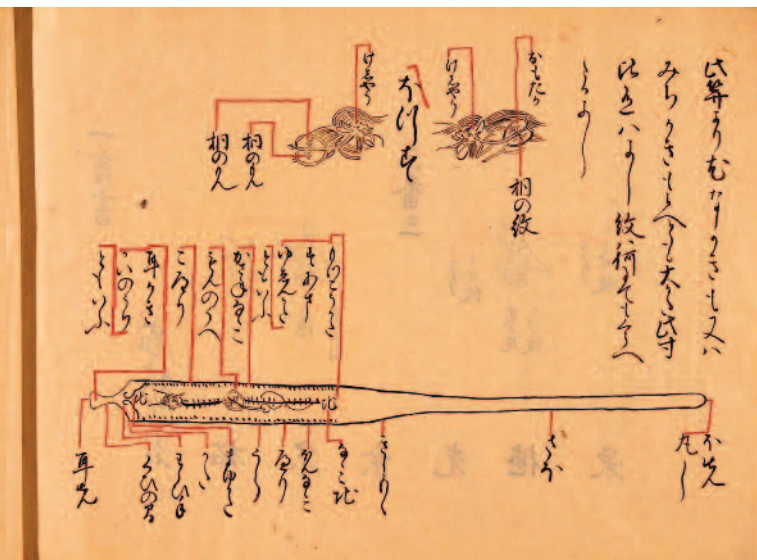




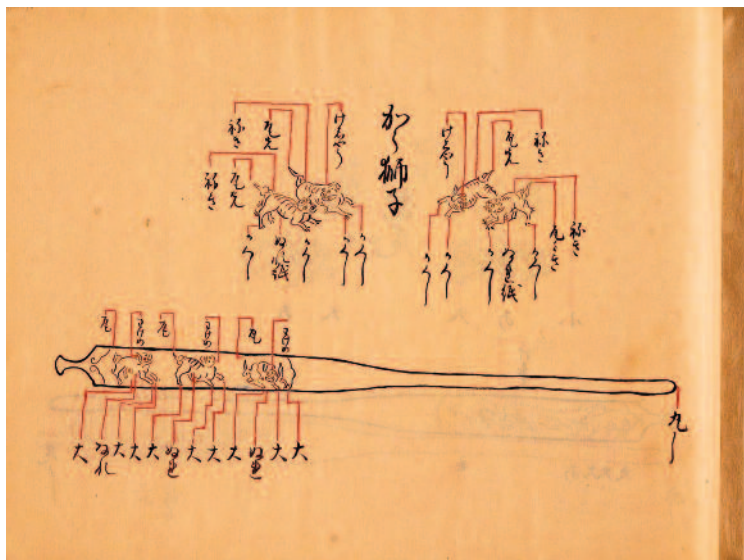
一四 もしほ草 (貞享元年中旬刊・菱川師宣風挿繪)

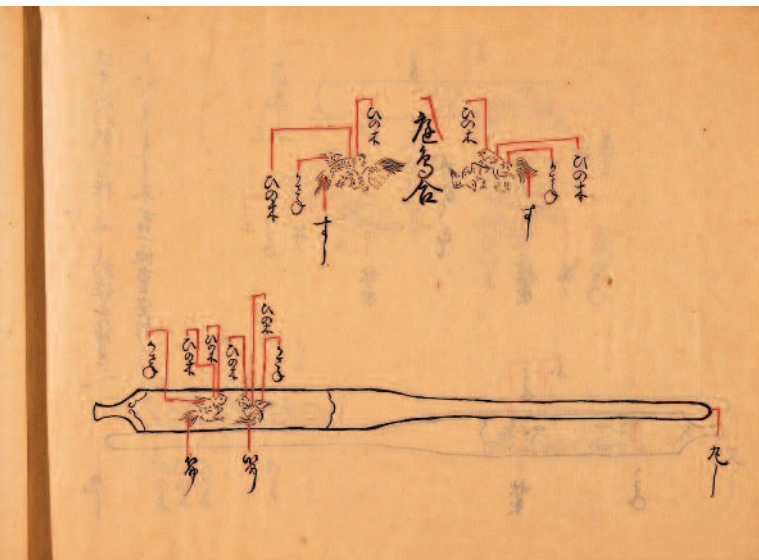






2.江戸彫り師後藤家秘傳書（延寶五年寫）





2.江戸彫り師後藤家秘傳書（延寶五年寫）

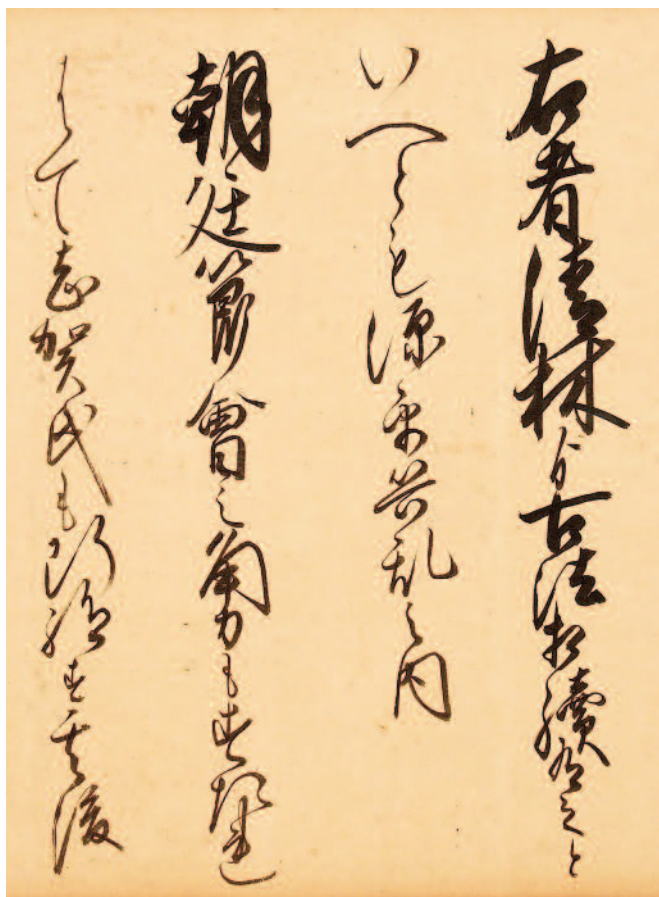
宗系図はゆゑにばらばら
 かゝるゝと同貫は魚一竿
 亦柄のみをりんぬ



一三 袈裟圖鈔 什物（貞享元年季秋寫）



七條モ九條モ留ナシヤリ石瓦シテ合尺メ其申ニ九
 ノ限紐ヲ付ケルモ上トモ今ニテ勝手票イトモテ留ナ
 在リシ長クメ疊テ臂ニ掛ケル
 ○ニ十五條カラ下ニ九條迄下ノ裏ニ新シキ布ヲ付ケルニ重
 付ケヨ七條衣五條衣ハ裏一枚付ケヨ亦ニ十五條ノ衣ニ
 故キ裏布ナラバ四枚付ケヨ七條五條ニテ故キ布ナラバニ
 重付ケヨ亦裏シモ割裁メクメテ縫合ニテ裁テ裏
 ニ付ケルカ本法ノ旨云々他行ナドニテ重ホドニヒシ重
 ラシ平色ノ用ニ縫ヘテ四ツ斗シ縫イ合セテ重キ時
 キヲ揃合ケル用ニモ縷衣ノ如ク切ラヌニ縫タモ好シ焚



3.近江國大津志賀清林 本朝相撲之起朝廷之例（佐野山丈助記・安永四年二月記）

本朝相撲司御行事
吉田追風門人

佐野山丈助

安永四^乙未年

二月吉祥日

沙家元

一百石 永田長代守

一百石 奥村河内守

内子百石

一百石 村安量後守

一百石 奥村昭昭

音名

内子百石

沙例沙周人

一百石 横山元人

内子百石

4. 文政三年加州武鑑

人持也

一百四十五

今校內記

人皆曰是火也

卷之五

一百

い多頼母

曰之子石也

一百石

津田河野

人

卷之五

3
4
5

子下

生初右

一

四

孝

夜内悟

卷一百一十五

子石

夜抄

15

武子齋石

蘇東坡詩

其長廿五尺位星入百六
拾五條より
日年六月江戸浦賀表
アメリカ船名即
長廿九尺間
蒸気船云帆敷十五
石火矢五十八
嘉永六七年米価
一金拾兩分 拾六條
米三條部下中身に
加

8. 嘉永年中ヨリ新聞新見山口林清記

右先年ハ并々倭金三下
少々又ハ三下ハ又
川後ハ並後ハ三下ハ
右ハ以

萬延元 庚申年十月廿

沙先有以在江作也

文久三 癸亥年 江戶年

元作年 正月 新買ハ右勤羽

年 正月 元

元治元 甲子年七月沙先有

七倭金人持持沙先 日年

固より先づ山に落葉を
 里に運ぶて新田に用ひたる
 山に其言ふ所は右に
 上山討合致し得る次第に
 云说有併相急之に減
 羽之山に取れ
 其時片月位候に
 作れり先陣に澤上
 次山に取落應捕上山
 尚不人教左に通

総督

山村忠馬

隊長 松平健造
参謀 松本重吉
上令三浦一
中村平介
外司令官
留學寺
二小队 鉄炮六
寸ハル 諸士金堡
第一
一小隊 日
メリケン 持筒下
一 二番人余
外
百人余
江吏長



19. 桃太郎後日ばなし



20.金太郎記



15.昇平鼓腹三府膝栗毛（松村櫻雨戯作）





18.汗血千里駒 續編 (坂本龍馬傳)



58.當世ボンチ双六



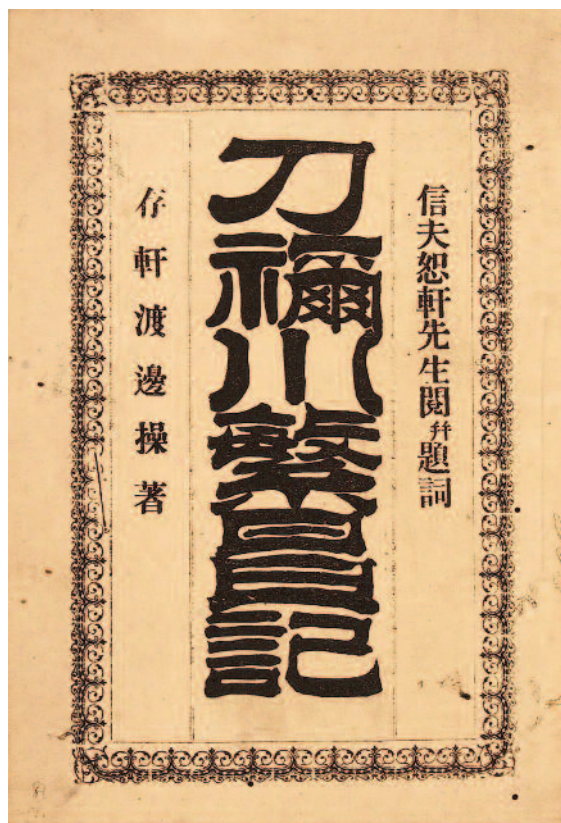
53.初代玄々堂松本保居銅版画



44. 農業新書（津田仙譯述）



30.新政府組織談（井上勤譯述）



61.刀禰川繁昌記

新、蘭、引、也、方、一、年
多、中、去、去、交、而、成
社、井、占、將、又、向、右、者、身
以、月、通、と、お、互、と、身、身
蘭、引、用、と、交、長、所、に
中、鉄、保、切、實、意、と、
秀、樹

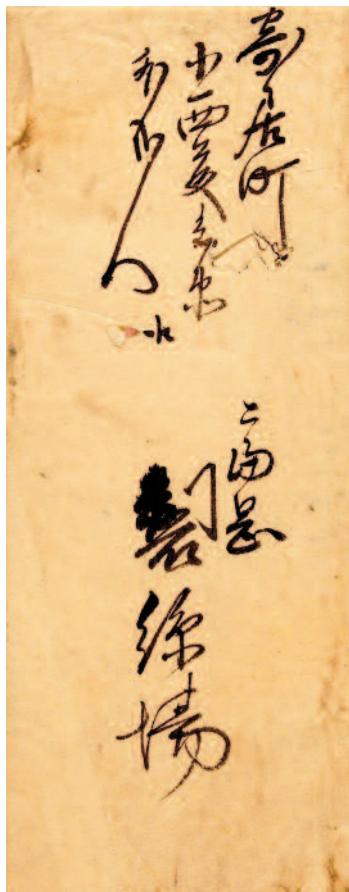
1. 上州富岡製絲場御用蘭商人關係文書

上州富岡製絲場御用商人關係文書

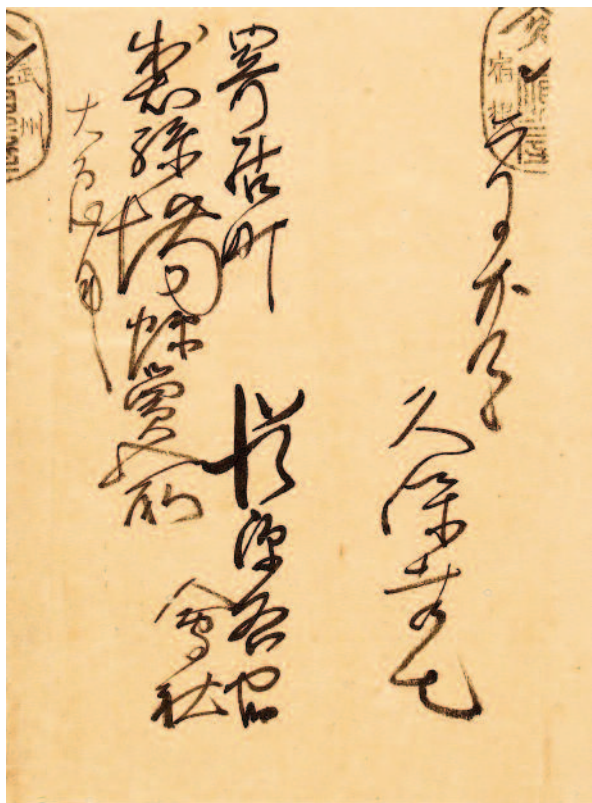
1. 上州富岡製絲場御用商人關係文書

富昌
廟意病建築
校本仕
三子其他
入用書所入

1. 上州富岡製絲場御用蘭商人關係文書



1.上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

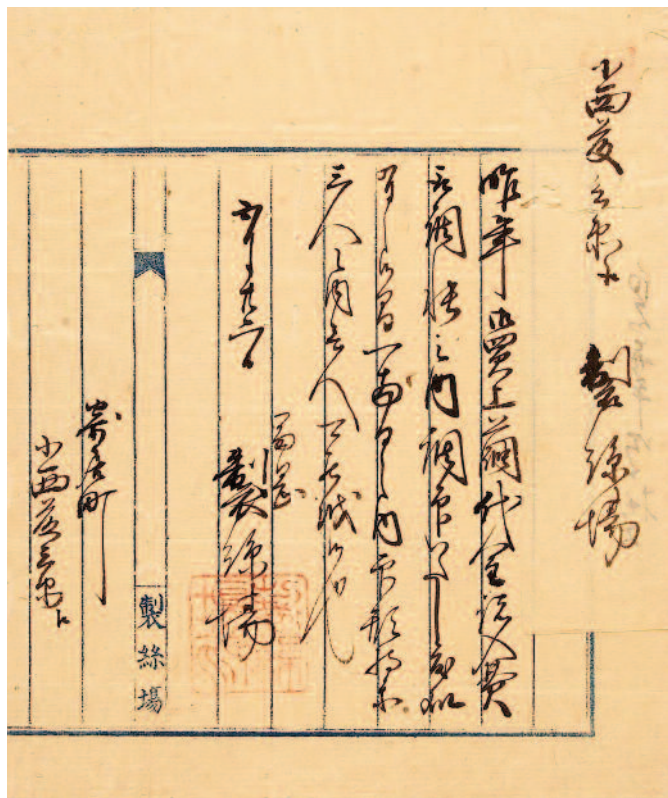


1.上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

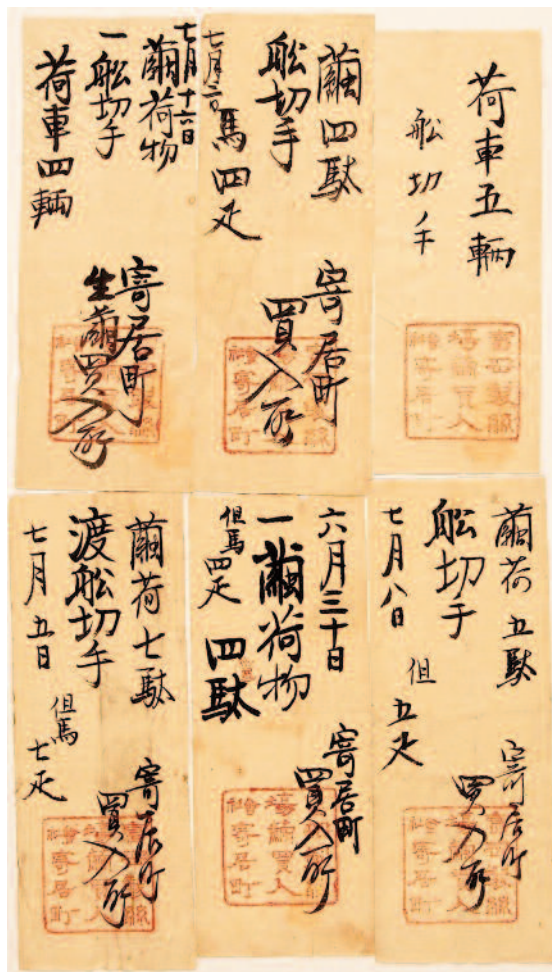
曾木川 會社
渡船場
切手入

船切手 馬壹疋 富岡製絲 場繭買入 社會 寄居町	船切手 馬一疋 富岡製絲 場繭買入 社會 寄居町	船切手 車一輛 富岡製絲 場繭買入 社會 寄居町
--	--	--

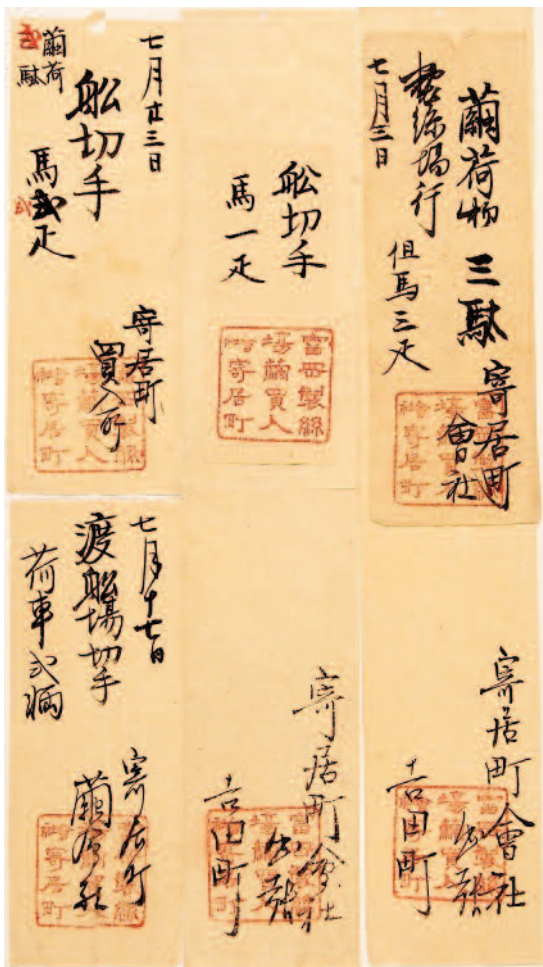
1. 上州富岡製絲場御用繭商人關係文書



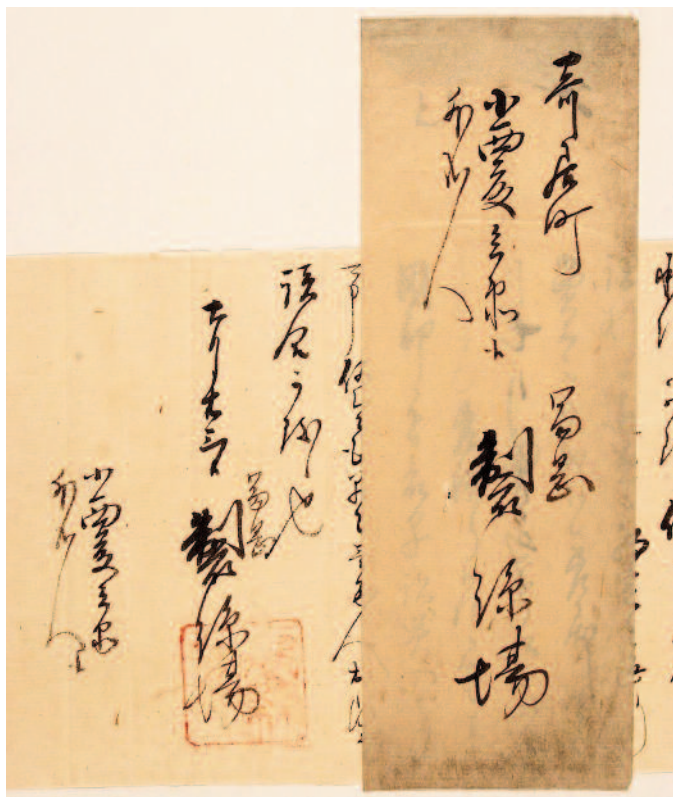
1. 上州富岡製絲場御用繭商人關係文書



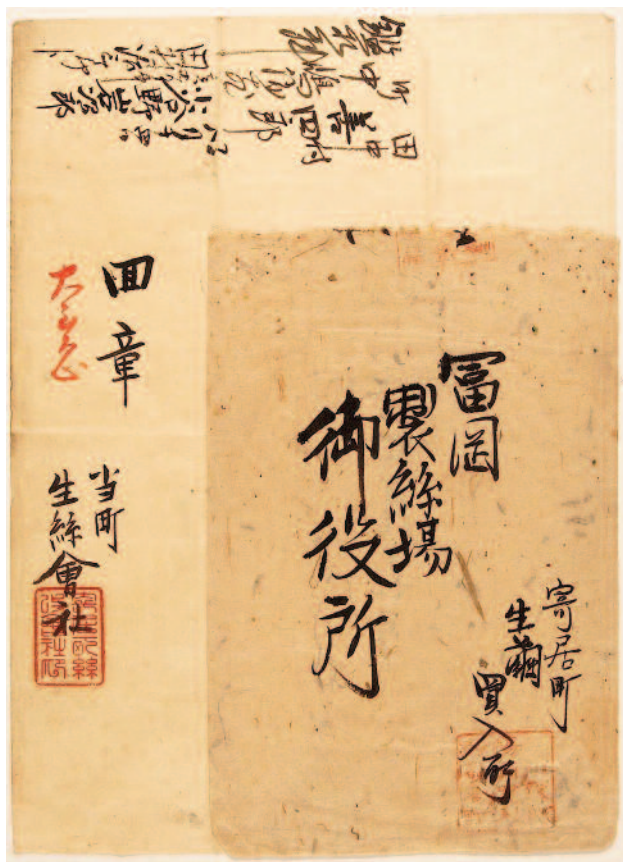
1. 上州富岡製絲場御用蘭商人關係文書



1.上州富岡製絲場御用蘭商人關係文書



1. 上州富岡製絲場御用薩商人關係文書



1. 上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

田廟運收子

五

中國書社發行

行幸

但
何量
石入
誰入

卷一

高要 製漆口江新門

石之山間亦有石屋今無存以遺之
 石屋中亦有石屋今無存以遺之
 石屋中亦有石屋今無存以遺之

壬申七月

印

何利何利誰

平通 五 雙 陽 一
 可 深 有 一 一 行 亦 通 一 陽 陽



1. 上州富岡製絲場御用蘭商人關係文書



1. 上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

157
12

一
金八圓

村久
之

八

五十一

音回

富田製線
場舖實人
繪巻厨下

田六

一
金
五
拾
六
圓

田永保

八日

石
六拾
五
年

音

富田蝦鱖
堪輿實人
陽春野

御下金之儀
何事金五百圓計

少翁公世修彩のや

七月九日

年五十時夢

會社

告四所

齋文集

田五

一金三拾九圓

六拾五

山水册

八
日

氣石上針

吉田所

富田製蘇
場納買入
田所

工女御掛	等外 一等附屬井原仲次様	十五等出仕中山力雄様	租税少屬出野經迪様	租税少屬田中武貞様	租税中屬佐伯秀明様	租税大屬尾高惇忠様	御役所詰	御役人附	御製絲場	上州富岡
------	-----------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	------	------	------	------

高木大之通様	國重信一様	佐伯英風様	山口縣	細倉翌明様	静岡縣	源井寛八様	羣馬縣	白根祥亮様	全	長野範亮様	全	山口縣	弘道輔様	傳習生徒衆	永井保興様	森澄徳聘様	中嶋中之助様	通辨衆
--------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	---	-------	---	-----	------	-------	-------	-------	--------	-----

1.上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

十四等出仕 鈴木莞尔様 御門 候衆 二等附屬 石井令處様 二等附屬 高橋千竿様 二等附屬 山崎勝三様 二等附屬 小崎富雄様	靜岡縣 高木大之進様 石川縣 兒玉逸郎様 山口縣 三吉正一様 全 新山芳辰様 長野縣 村瀬直卷様 工男衆 十八人
御雇佛國人衆 首長 ブリニナ様 検査 ベラシ様 ブライト様 醫師 マイー様	女工師 ヒエーホル様 ルイズモニエル様 マリィシャレー様 ハラシ様 銅工 シャートロン様

保整四師師師日島早人人主

上州富岡製絲場御用繭商人關係文書

一括 二、一六〇、〇〇〇

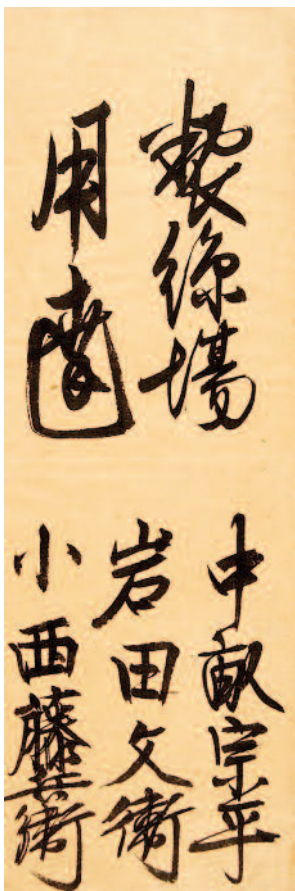
武州寄居町製絲場御用達小西藤兵衛家文書

二〇一四年六月ニ世界遺産登録サレタ富岡製絲場ノ明治五年ノ開業當時頃ヨリ御用出入商人トシテ繭ヲ納メテイタ武州寄居町ノ小西藤兵衛（屋號ハ岩田屋）ノ製絲場トノ取引ヲ主トシタ關係文書群。

富岡製絲場カラ横濱ニ通ジル街道ハ「絹の道」、近年シルクロードトモ呼バレ、ソノ街道筋ノ最モ上州寄リノ武州ノ北部ニ位置スル寄居町ハ秩父往還ニモ位置シ宿場町トシテ榮エタ。

小西家ハ江戸期ヨリ生絲問屋トシテ引札ナドヲ盛ンニ發行スル老舗デ、安永期頃カラ幕末、明治三年頃迄ノ文書ガ少部含まレル。富岡製絲場ノ開業ガ決マツテカラハ中畝宗平ト岩田文衛ト共ニ御用達商人トナリ、オソラクハ秩父方面モ含メテ武州北部ノ繭ヲ一手ニ納メテ繁昌シタノデアロウ。

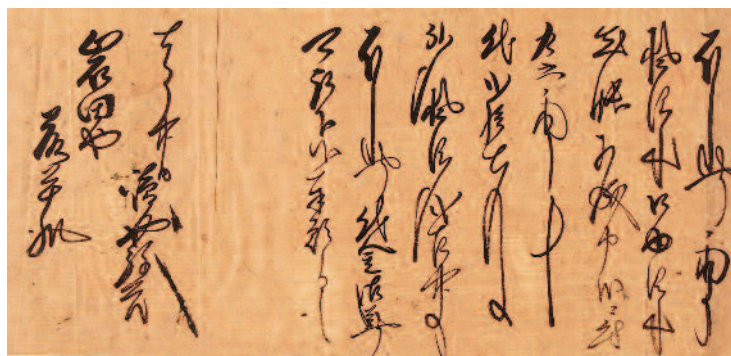
文書群ハ富岡製絲場ニ關係シタアリトアラユルモノデ、初代場長トナツタ尾高惇忠ガ小西藤兵衛ラ御用達三名ニ送ツタ書翰ナド數多クノ書翰類、東京横濱トノ往來ヲ記シタ關係文書、富岡製絲場ニ向ケタ繭ノ運搬デ船ヤ馬ヲ利用シタ切手札ナドノ文書類、ソノ他取引ニ關スル歳入支出ヲ記シタ文書ナドガ大量ニ存在スル。初期ノ富岡製絲場ガ御用繭商人ト

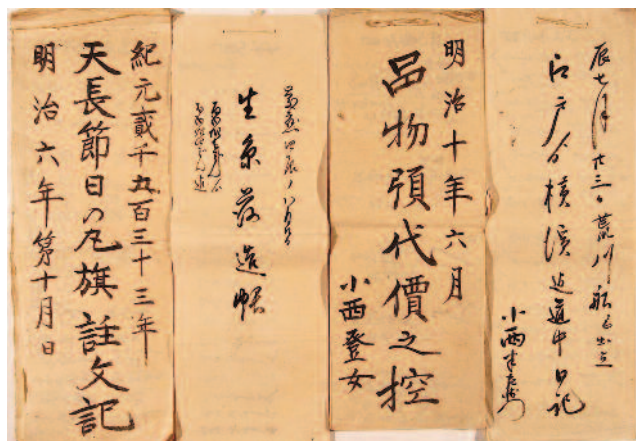


交ワシタ商イノ實狀ヲ少ナカラズトモ知り得ル原資料デアル。

文書群ノ殆ドハ墨書デ記サレタモノデアルガ、若干印刷物ガ含マレソ
ノナカニ「明治六年四月」ト記サレタ「上州富岡御製絲場御役人附」ト
題シタ和紙ニ金屬活字版デ印刷サレタ非常ニ史料の價値ノ高イ貴重ナ一
枚刷リガアル（三一・五×四七・五糎）。左下ノ餘白ニ非常ニ小サナ朱
印（一九×七糎）ガ押捺サレルガ不鮮明デ殘念ナガラ全文判讀デキナイ
ガ、「活版 東京元大坂町 印刷 □□社製」ト讀メル。シカシ「元」ハ定カデハナイ。
イズレニセヨ大坂町ハ現在ノ日本橋界隈デアル。本木昌造ノ弟子デ長崎
カラ上京シテキタ平野富二ガ開イタ築地活版ノ建設ガ始マッタノガ前年
ノ明治五年デアルノデ興味深イ一枚刷リデアル。

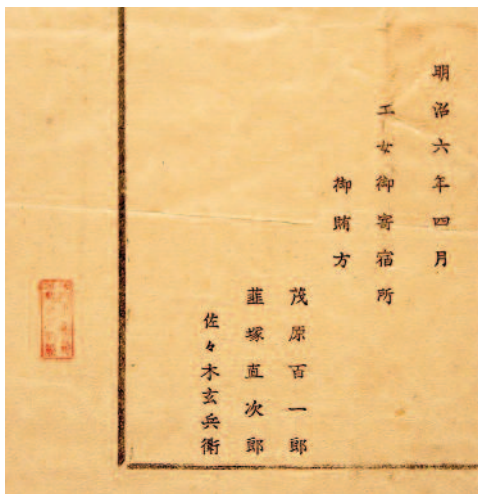
三四頁ノ五一頁參照







【朱印ハホボ原寸大】



明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	茂原百一郎 薙塚直次郎 佐々木玄兵衛	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方
明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	茂原百一郎 薙塚直次郎 佐々木玄兵衛	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方
明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	茂原百一郎 薙塚直次郎 佐々木玄兵衛	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方	明治六年四月 工女御寄宿所 御踏方



二 江戸彫り師後藤家秘傳書

間二合イ紙

延寶五年

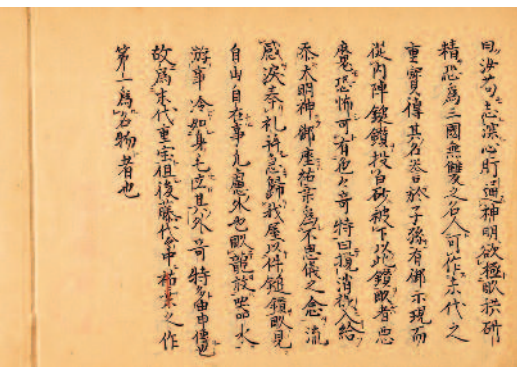
半横一册

一六二、〇〇〇

―後藤喜右衛門―山田梅保―佐々木柳雲 若原勘之助殿 寫本三四丁

江戸時代初期ニ始マツタトサレル木彫リノ建築裝飾ノ「江戸彫り」ト呼
バレル流派ノ始祖、左甚五郎ト並ンデ江戸デ大キナ勢力ヲ誇ツテイタ後
藤家ノ秘傳書三卷ノ合本。

一〇〇一三頁参照



秘傳書



夫目與鼻并法有月城鼻神代以脇指之道具漆燈也于時仁孝百代後小兒於御宇應求之此有祐來之人巧勝于世超于人情案家業稱荷大明神者依爲爲常案奇護神抽一千百今日再誠已成說之曉新蒙瑞夢於神前烏居之下見長二丈餘之臥牛是則已時參詣之灵驗怨忘玄微之心牛改欠不驢步適於神前清淨祈禱由若御靈具殿之御戶神闕客也為乘之切并出現而

後藤家代々見分之事

第一 枯索之口傳

[illegible]

は菊の心うつとやうな
人なれどもうへは見え
色くろ大入り



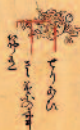
うゝ菊

は菊の見様よりなほ
星すくぬるを思ひ
ある事なり

牡丹

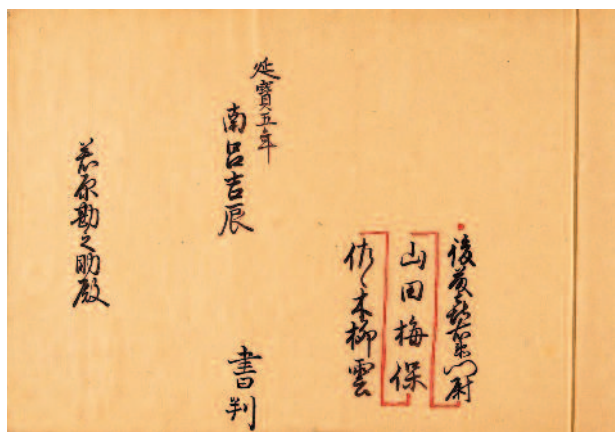
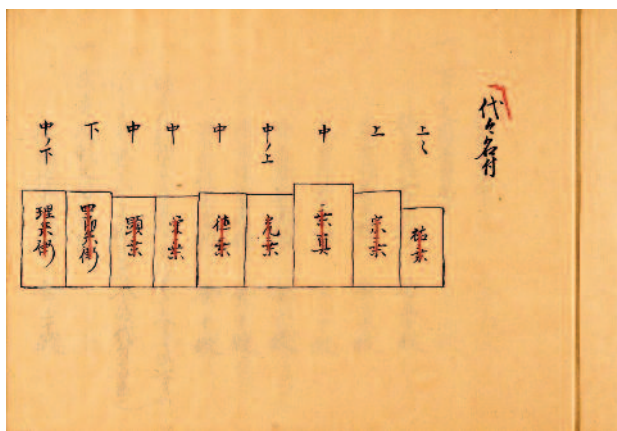


牡丹
さうり
さうり



牡丹
さうり
さうり

一言書雖不漏他
色く依り観望令相
傳半全不可也
凡他言者也



三 本朝相撲之起朝廷之例

安永四年二月吉祥日 一卷 一二九、六〇〇

― 本朝相撲司御行司／吉田追風門人／佐野山丈助記 東川林藏殿

紙高一七・五糎 長サ六〇〇糎

一六・一七頁参照

架空ノ人物トスル説ガアルガ近江國大津ノ木戸出身ト云ワレル奈良時代ノ力士・行司ダッタ志賀清林ノ禮法口傳書ノ一卷。相撲ノ吉田司家ヤ各行司家ニ傳ワル『相撲傳書』『相撲講本』『相撲式』等ニ登場スルト云ウ。ソノ記述デハ、奈良時代ノ七二六年（神龜三年）ニ、近江國カラ朝廷ニ出仕シ、相撲ノ技四十八手ト禮法ト「突ク・殴ル・蹴ル」ノ三手ノ禁ジ手ヲ制定スル事ヲ聖武天皇ニ奏上シタ人物トサレル。



本朝相撲之起

朝廷之例

史相撲を天竺國の神祇陽神

生る功神を信ずるやうに

海神を祀りて海神祭を以て

その勝者は人々を賜ふものなり

角力とて實に角力とて角力

昔會七月の月より角力

既而退れ給ふに角力の月

是より角力とて賜ふものなり

勝つる功を賜ふものなり

角力とて賜ふものなり

事い天照大神より賜ふ

天の璽なりとて賜ふものなり

朝廷角力始りて天子一侍

雲仁天皇南宮大和國高麗連

高麗國新羅王神祇祭目より

其事始元より人々

史相撲

聖武天皇神祇祭中給ふ

平姓如我極言なり

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

神祇祭中給ふ

朝廷より賜ふものなり

此道元來神事より起

朝廷より勅を賜ふ

陽和合天下養平國志

安全ノ爲メハ此理ヲ辨

互小力之清一原之清之

乃其子也

神功一書

しんしん

五
劫
時
自
然
神
明

同

子角

卷之十

石室山房

准允是也

右者古實我士多年追風之
慕流義日夜之念願而十六
代之孫追風注以瓊紙神文
口傳請所也今季依懇望無
據有增九牛一毛認和文令
傳授条勿論口傳之真儀不
請旗根覽文不可有之季
口傳有之條仍如斗

本朝相撲司御行奉
吉田追風門人

佐野山丈助

安永四^{乙未}年

二月吉祥日

東川林藏版

四

文政三年加州武鑑
— 矢野倉方昌記

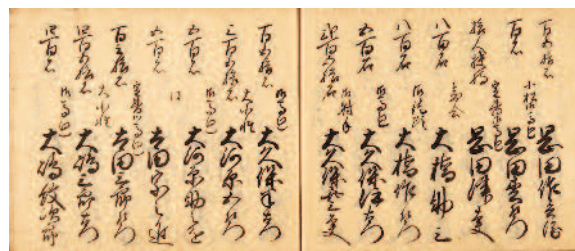
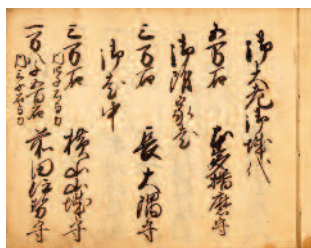
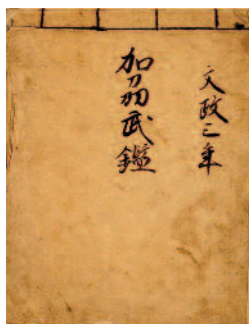
寫本七一丁

天保四年三月

中横一册

一〇八、〇〇〇

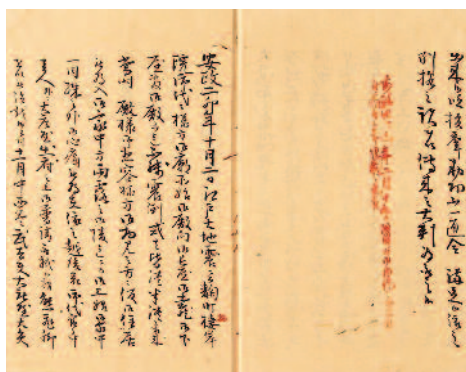
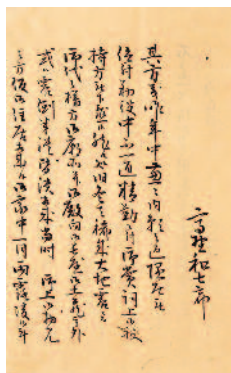
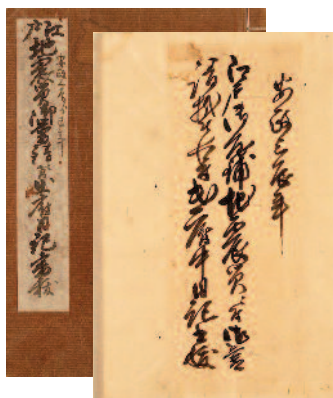
一八・一九頁參照



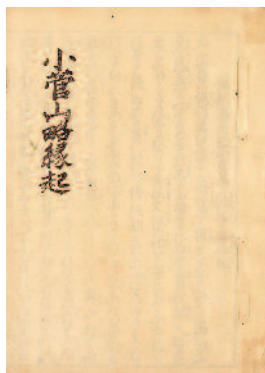
六 江戸御屋鋪地震災二付御普請誓出府中日記書拔

— 安政三辰年 高野和七郎 寫本二四丁

半一冊 三一、四〇〇



七 小菅山略縁起 摺外題 七丁本 元禄元年五月 後摺 特大二冊 二七、〇〇〇
 | 信州高井郡小菅山元隆寺略縁起



八

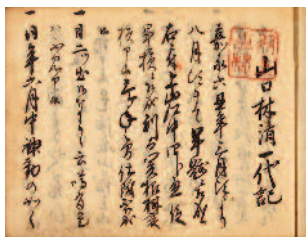
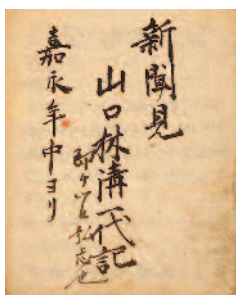
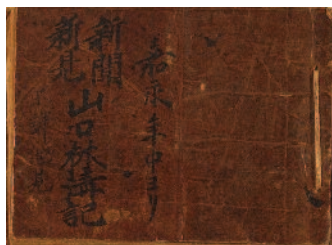
嘉永年中ヨリ新見山口林清記

寫本約二〇〇丁 中横一冊 二二九、六〇〇

―内題「新見山口林清一代記／即チ山口弘志也／嘉永年中ヨリ」

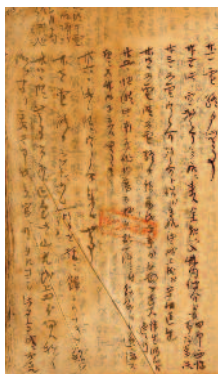
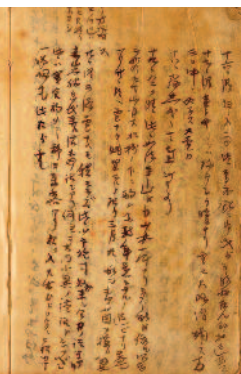
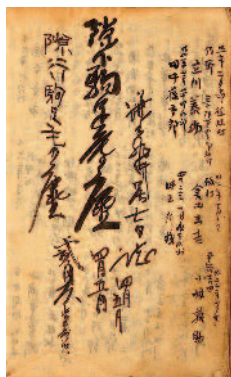
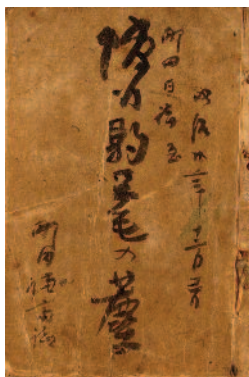
羽州山形邊出身ノオソラクハ藩兵ノ山口林清（明治三年山口弘志ニ改名）トイウ人物ガ嘉永六年浦賀ノ異國船來航カラ幕末ノ奥州諸藩ト官軍トノ攻防及戰況ナドヲ詳細ニ記録シ慶應カラ明治初期、中期ニ至ル山形ヲ中心トシタ動勢ヲ日誌風ニ記録シタモノ。幕末カラ明治初期ニ於ケル動乱ノ情報ヲ一兵ガドレダケ得テイタカヲ知り得ル。明治廿八年「此年日清戰爭ナリ」ト記サレルモ後ニ續キ末尾ニ昭和三年ノ年記ガアルガ筆ガ異ナル。

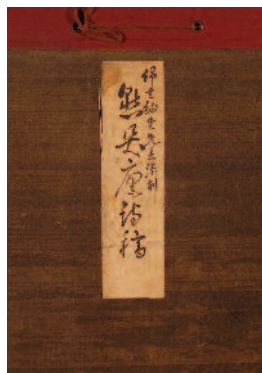
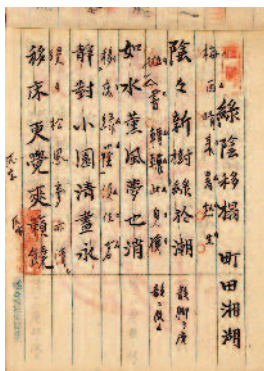
二〇〇二三頁参照



九 傳信州中野鈴泉寺町田謙齋（湘湖）資料 明治大正期 三点一括 五四、〇〇〇

―「町田謙齋日誌隙行足尾の塵」（明治廿二年十二月三日ヨリ）雁皮紙厚冊・「鴻爪」町田湘湖印譜・「町田湘湖詩稿」（絢堂先生添削）





一〇 時代概観序 正木直彦筆

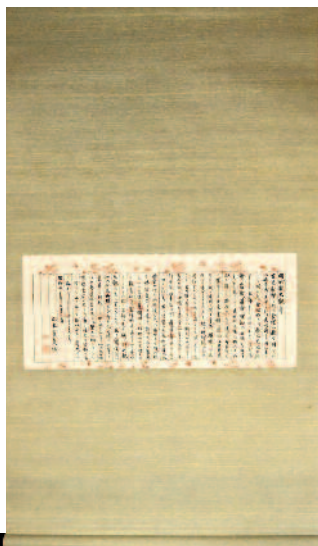
昭和十三年三月三〇日 二六×六三 軸長一二六糎

一幅 二七、〇〇〇 函入

正木直彦ニ文久二年大坂堺ノ生マレ。明治カラ昭和初期ノ美術行政家。文部官僚出身デ、東京美術學校（現東京藝術大學）ノ第五代校長ヲ一九〇一年カラ一九三二年マデノ長期ニワタツテ務メタト云ウ。昭和十五年三月歿。

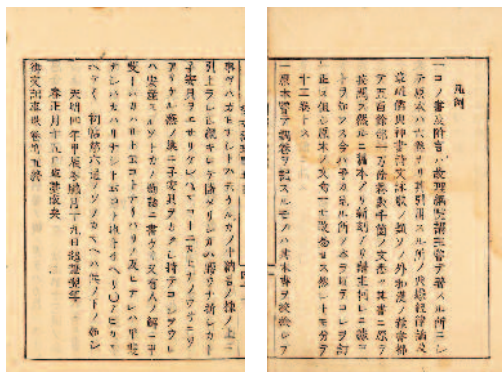
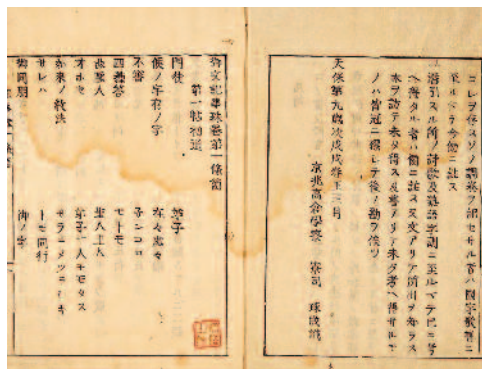
時代概観序文

正木直彦筆



二 御文記事珠 全六巻 簽欠 天保九年春三月序刊 大一一冊 三二、四〇〇

一 京兆高倉學寮／寮司／琢成識 第一冊ニ染ミ少虫損染ミ
一見、木活字版ト見紛ウガ整版デアル。



三

諸將旗旌圖

天地人卷

簽

寬永一

四年刊

特大三冊

五四〇、〇〇〇

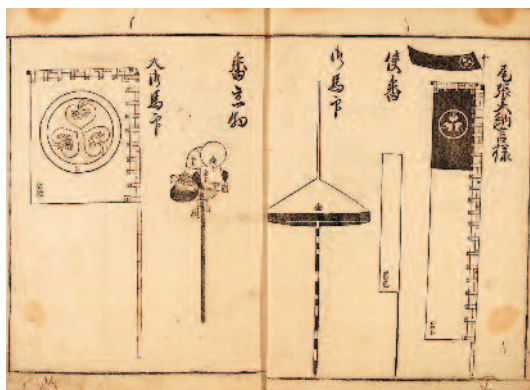
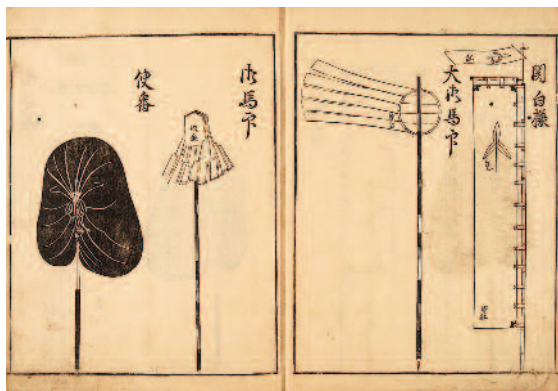
一 愚齋周哲序

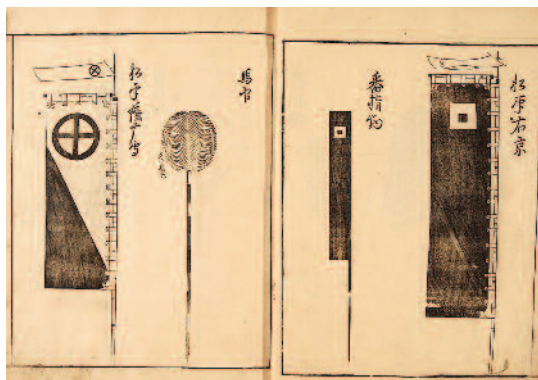
長門後學河野忘巷子春察書

下卷喉少虫

二、五頁參照







勘兵衛重通者至諸子百家之書皆以錢梓吁其巧倖哉今也指物摘上中下三卷新欲鑄於梓而來問其誠否願乞一言以託不朽乎披卷見之實武人常宜見知之書也其如何五十餘年而遂上從天下之聖君下至近臣與諸侯自家甲冑旌旗并騎卒指物胞衣冬以昼之圖之苟臨戰場至某旗赤某幡白此於金銀彩色可坐知之道也嗚呼有知記者名為遺憾然其人謙退以不著其名耶見此書則英雄之美惡如指掌也誠天下雖安不忘戰之意也愚也淺聞薄智欲議之台本間強雖不免燕石白承之誼俾磨鈍銷朽書以為殿

寬永十四餘星集丁丑孟夏杓吉

長門後學河野意子春榮書

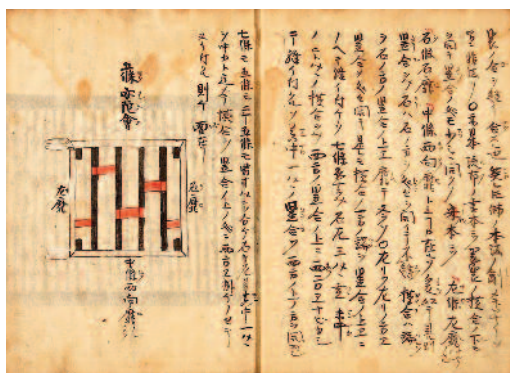
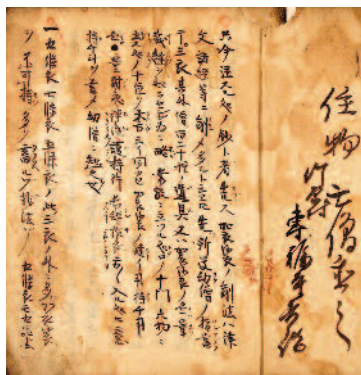
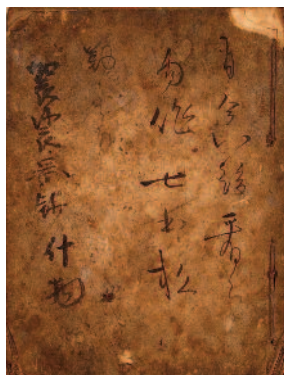
三 袈裟圖鈔 什物

寫本二二丁

貞享元年季秋寫

半一冊 五四、〇〇〇

一四・一五頁參照



水衣（水衣）此は合（合）大物上（大物上）果實者病（果實者病）と云ふ水
 事（事）ノ下ノ計簡（計簡）ノ如（如）ハト云（云）リ在（在）計簡ノ指
 下ノ指ノ道具ヲ有（有）ラズ水衣（水衣）ノ道具ノ四角
 五 流水衣（流水衣）モミ半由旬（半由旬）過（過）クハ我（我）ヲ結（結）ムトナ
 子句過（子句過）ミテ水衣（水衣）ヲ持（持）ミテハ僧ノ我（我）ハゾ其（其）ニ入
 テテ水（水）中（中）ニ入（入）テ下（下）ノ水（水）中（中）ニ在（在）テ是（是）レヲ衣（衣）ニ
 是（是）レノ後（後）ニ我（我）ヲ脱（脱）キタルニモアザル水衣（水衣）ヲ持（持）テス
 僧ノ道具（僧ノ道具）ノ持（持）父（父）ニ多（多）クナリテ或（或）ハ覺（覺）細（細）結（結）ナド
 十八種（十八種）ノ道具（道具）ヲ持（持）テナリ 師（師）ナク我（我）ハ其（其）ノ者（者）ナキ
 二時（二時）ニ我（我）衣（衣）ニミテ 卷（卷）ト復（復）ニ坐（坐）禪（禪）ニ亦（亦）是（是）ト云（云）フ

伽藍（伽藍）早（早）了（了）達（達）金（金）三（三）天（天）開（開）出（出）達（達）而（而）之（之） 山僧（山僧）然（然）ア
 寺（寺）之（之）モ故（故） 衣（衣）衣（衣）星（星）脉（脉）所（所）載（載）水（水）明（明）條（條）數（數）重（重）數（數） 作（作）法
 四行（四行）割（割）探（探）被（被）經（經） 世（世）儀（儀）持（持）提（提） 亦（亦）年（年）余（余）所（所）衣（衣）之（之） 在（在）條
 衣（衣）帶（帶） 在（在）條（條）衣（衣）帶（帶） 中（中）條（條）衣（衣）帶（帶） 下（下）邊（邊）同（同）探（探）四（四）小（小）探（探）等（等）
 略（略）宜（宜）大（大）衣（衣）之（之）者（者）衣（衣）之（之）知（知）深（深）後（後）跟（跟）紐（紐）衣（衣）條（條）味（味）之（之）
 美（美）則（則）難（難）見（見）人（人）之（之）淺（淺）勝（勝）夕（夕）何（何）以（以）我（我）作（作）爲（爲）新（新）發（發）意（意）子
 指（指）車（車）上（上）布（布） 大（大）足（足）局（局）也（也）
 智（智）論（論）云（云） 佛（佛）言（言）從（從）今（今）若（若）在（在）此（此）衣（衣）水（水）濕（濕）衣（衣）者（者）捨（捨）世（世）名（名）
 者（者）我（我）總（總）着（着）僧（僧）道（道）士（士）而（而）食（食）衣（衣）食（食）百（百）水（水）食（食）
 智（智）論（論）云（云） 佛（佛）言（言）從（從）今（今）若（若）在（在）此（此）衣（衣）水（水）濕（濕）衣（衣）者（者）捨（捨）世（世）名（名）
 者（者）我（我）總（總）着（着）僧（僧）道（道）士（士）而（而）食（食）衣（衣）食（食）百（百）水（水）食（食）

一四 もしほ草

―菱川師宣風插繪八圖。丁附ハ「一」ハ「二十八」ト刊記ノアル一丁ヲ加
エテ全部二九丁。末尾二丁ニ少墨ツキ。原装本題簽附。題簽ハ擦レテイ
ルガ文字ガ僅カニ殘ル。

簽 貞享元申子霜月中旬刊

大ニ冊 八六四、〇〇〇

六ノ九頁參照



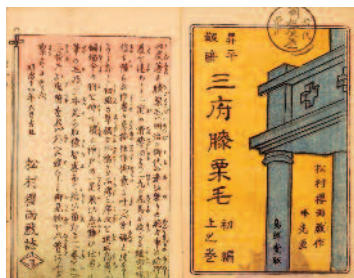


一五 昇平
鼓腹三府膝栗毛
——松村櫻雨戯作

全三編各上中下巻
松齋吟光画 島鮮堂板

袋附 明14 中九册 二二九、六〇〇
袋ハカバ―状ニ作リカエテイル

二六・二七頁参照



一六 霜夜鐘十時辻筈

全五編各上中下巻

袋附

明13

中一五冊

八六、二〇〇

―武田交來録

大蘇芳年画

岩上正美編輯

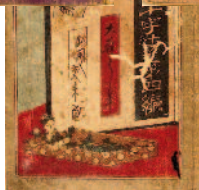
船津忠治郎出版

第三編ノ上

巻下方ト第四編上巻二下方虫損アリ

袋ハカバー状ニ作りカエテイル





一七 散髮於瀧開化姿見 初編上下卷
 麗々亭柳橋著 守川周重画 上卷ニ少手擦レ

木宗版

明11

中二册 一〇、八〇〇



一八 汗血千里駒 續編 (第三編) 雜賀豊太郎編輯 明16 中一冊 二七、〇〇〇

― 芝定四郎出版 斯文社印刷

『汗血千里駒』ノ和装本ハ比較的稀ニシテ續編ハ稀本。残念ナガラ三丁落丁ト小サイ筆リ穴ト下方喉ニウマクイアリ。 二八頁参照



一九 桃太郎後日ばなし
―八丁本 餘白等二墨ツキ

さい馬作

国よし画

泉市板

極小二冊

五四、〇〇〇

二四頁参照





二〇 金太郎記

美本 五丁本 長谷川園吉画版

明19

極小一冊

四三、二〇〇

二五頁参照



二
新作かんかゑ物集 著者不明 無刊記 版心「考物」 極小二冊 一二、九六〇



